

届け 世界の果てまでも

令和2年11月18日

No. 48

文責 校長 飯久保一男

日本が誇れること

先月、本校の読書月間の取り組みの一つとして、教職員による読み聞かせの機会がありました。私は、3年1組に行かせてもらいました。普通、読み聞かせといえば、物語などを読んで聞かせるのだと思いますが、私は「**それって日本と逆!? 文化のちがい 習慣のちがい**」という6冊シリーズ、新版5冊シリーズから、日本と外国の文化や習慣の違いをいくつか紹介しました。3年生が興味をもって話を聞いてくれ「日本のよさを感じてもらえたかな」なんて勝手に思っています。授業はなかなかさせてもらえませんが、私にはとても楽しい時間でした。



前号の「色彩感覚」のほかにも、日本が世界に誇れることについていくつか書かせてもらいます。

…連続してマメ知識のような通信になりますがご容赦ください。

児童会が「アフリカ飢餓救援米」募集の取り組みをしました。ご協力ありがとうございました。食糧難の国、財政難の国もあります。平和が保たれていない国さえあります。様々な国の事情を知ると、日本で生活している私たちは恵まれています。コロナ禍で不安の期間を過ごしていますが、人権が尊重され、いろいろな制度に守られて、平和で、安心して過ごすことができていることには感謝の気持ちが必要だと思います。



前号で、水の色について書きましたが、海外では「水が透明であることを知らない」「透明な水を見たことがない」という子どもがいるそうです。水道の水がそのまま飲める国はごくわずかしかなかったりありません。4年生は社会科の学習で、上水道から下水道まで、水について学習しました。水に関わって働く人々の努力や工夫、苦労などを学びました。それらの人々のおかげで、日本中どこかの蛇口からも衛生的で安全な水が出てきて、私たちは、誰も危険を感じずに、手を洗い、水を飲んでいのです。

この水道の水のように、日本人にとっては当たり前のことですが、それを日本が世界に誇れることだと気づかないことがたくさんあります。そして、そこには必ずそれを支える人々の努力や工夫、苦労があるのです。たくさんある日本が誇れることの中で、子どもたちにも理解できる内容を少しだけ紹介します。

その1 電車やバスが時間通りに来る。

「つくばエクスプレス」(首都圏新都市鉄道)が、定刻より20秒早く出発し、誰からも文句が出ていないのにホームページにお詫び文を掲載した話は、世界でも話題になりました。他の先進国でさえ10～15分の遅れが出たときに、遅延としているのですが、日本ではどの鉄道会社でも1分の遅れを遅延としているそうです。これを支えるために、人々の努力や苦労があることはすぐに理解できます。日本の鉄道の時間管理の素晴らしさを知った海外の人の中には、自分の国の鉄道管理も日本の会社にやってほしいという人がいるそうです。しかし、日本の会社が管理したとしても、そこで働くのが日本人でなくてはダメだろうとも言うそうです。日本人の真面目さ、勤勉さ、仕事の正確さを物語ります。電車やバスが時間通りに来ない…、日本では考えられないことです。



つくばエクスプレス

その2 治安がいい。きまりやルールを守る。

警察の事件の解決率はアメリカの68.3%に比べて、日本は95.9%と、日本の治安のよさが数字となって表れています。日本の警察は世界一といわれます。小学生が子どもたちだけで登下校する姿は、海外の人には信じられないことのようにです。女性が、夜一人で歩けますし、野菜の無人販売所のものをお金を払わずに持っていく人はいません。セルフサービスの飲食店で、先に食事場所をバッグや上着を置いて確保すること（禁止されている店もあります）がありますが、海外では食事をとりに行っている隙に、そのバッグや上着を持って行かれてしまうことも多いそうです。食事をしたテーブルに携帯電話を置いてトイレに行っても、戻ってくればちゃんとあります。修学旅行で財布を置き忘れる子どもがときどきいますが、かなりの確率で戻ってきます。警察の力もさることながら、人々のきまりやルールを守る態度、平和を大切にする姿勢が表れているのだと感じます。



野菜の無人販売所

その3 マナーを守る。順番を守る。(再掲載…本紙No.4に掲載した内容です)

「日本人はなぜ行列にきちんと順序を守って並ぶことができるのか？」

という内容を「所さんのニッポンの出番すでに番組は終わっています」という番組が扱っていました。



日本人であれば常識ですが、海外では「並ぶ」という概念がありません。海外の学校では、子どもに「背の順に並ぶ」「整列する」ということをあまり教えません。番組の中で、海外の人が、日本人のこの姿は「理想像」だと言っていました。割り込みが横行している国では、前の人との距離を少しでもあけると割り込まれるとのこと。順番を守り、割り込みをしないで並ぶ習慣は日本の誇れる文化の一つなのです。番組では理由として次の2点をあげていました。

- ①子どものころから学校などで整列することを身に付けさせているからキレイに並べる。
- ②江戸時代に、いくさでの抜け駆け禁止令が出たことで、社会全般に抜け駆けするのがよくないという風習ができたから順番を守ることができる。

日本人が当たり前に行っている行動の原点をさかのぼると、こんなに昔から受け継がれ、そして教育の効果も積み重ねられてきていたのです。日本人のマナーや行動は、歴史や教育に裏打ちされた伝統でもあるのです。東日本大震災の後でさえ、暴動・略奪などは起こらず、肉親を失った人や家を失った人も悲しみの中でも、被災地の人々は、落ち着いて行動し、静かに列をつくらせて配給を待ちました。この映像が紹介され、多くの海外の人々を驚嘆させたということです。

これらの他にも

- 礼儀正しい
- 街がきれい
- トイレがきれいで衛生的
- 商店などのサービスがいい
- レジで待たされない
- 食べ物が新鮮…生魚や生卵が食べられる
- チップの文化がない
- 自動販売機が多く種類も豊富



なども日本のよさとして話題になります。中には「レストランのメニューの写真と実物が同じ」ということをあげる海外の人もいます。メニューでは、たっぷりクリームがかかっているのに、実物はちよびっとしかなかったらどうしますか…。日本では当たり前を感じるのですが、こんなことも、日本の誇れることなのです。紙面の都合で紹介しきれません。家庭でも子どもに日本のよさ、日本が誇れることの話をしてあげてください。